



にちにちこれこうにち

日々是好日 書道を続けながら これからも毎日楽しい生活を送りたい

ぬまやま ようこ
沼山 洋子 さん 大正14年生まれ 95歳 / 西津軽郡鰺ヶ沢町出身



今年も1日1日を大切に、楽しく過ごします。

私の小径

いつも明るいムードメーカー みんな輪になって 楽しく暮らしたい

さいとう かつこ
齊藤 勝子 さん 昭和12年生まれ 83歳 / 北海道国後島出身



「私が丑年で、夫が午年生まれだから、とにかくよく働いたのよ。」たくさんの思い出を話してくれました。

沼山洋子さんは、西津軽郡鰺ヶ沢町に5人姉弟の次女として生まれました。父の転勤により三本木や五所川

原、青森市など様々な地域で幼少期を過ごしました。いろいろな土地で過ごしてきたけれども、小学校4年生の時に1年間だけ在学していた三本木小学校が一番思い出に残っています。その時の友人とは、卒業してからもよく会っていました。」

2021 年女特集

小学2年生の時に終戦を迎え、漁船に乗って国後島から根室へ引き上げ、叔母の家へ一家で身を寄せました。「戦後で食べ物がない時だったけれど、叔母の家へ着いた時たくさんのおはぎが用意されていて、とても美味しかった。あのおはぎの味は今でも忘れられないわ。」

1年後、勝子さん一家は、国後島からの移住団体の人々と奥尻島へ渡りました。体が弱かった勝子さんは、学校へ通うことができず、水汲みもしたことがありませんでした。勝子さんの兄は奥尻島で青年団長をしていたので、家にはいつも沢山の人が集まっていた。7歳年上の夫・秀一さんもその中のひとりでした。「アートの言葉がわからなかった私は、兄たちに『アートのこと、どういう事か、誰か教えてくれない?』と言うと、『俺と浜に二人で行こう。』と、アートの誘ってくれたのが夫なの。」

19歳の時、結婚して3人の女の子が生まれました。「島は自然が豊かで、休みの日はウニやアワビを取って、家族で過ごす時間が幸せだったよ。」

長女の高校進学をきっかけに、函館に住むようになった頃から、勝子さんは体が丈夫になり、秀一さんと同じ土木関係の会社で働きました。几帳面な夫の弟子として一緒に働くうちに、基礎工事に必要な知識も身に付きました。1990年、秀一さんは出稼ぎ先の東京で倒れた後遺症で、首から下が麻痺状態になりました。函館に連れて帰ることも考えましたが、娘がむつ市に嫁いでいた縁で移住してきました。それからは孫の面倒をみながら、夫が2016年に亡くなるまで、介護をして暮らしました。

「介護は大変だったけれど、むつ市の友人に恵まれて支えられたわ。それに、孫がいたから頑張ることができた。その孫が今年結婚してね。感染症の流行もあって、しばらく会っていないから、会いたいよ。」

現在、週2回「みちのく金谷リハビリテーションセンター」へ通いながら、自宅で一人暮らしをしている勝子さん。子どもたちや奥尻島で暮らす姉が、気にかけて連絡をくれるから寂しくはありません。「この職員は明るくて、一緒にリハビリを受けている人たちも良い人ばかりで、楽しくリハビリを受けているのよ。」

娘たちや孫に会える日を楽しみに、新しい一年が明るくなることを祈り過ごします。 記/若狭 珠枝

小さい頃から勉強することが楽しいと感じていた洋子さんは、沢山勉強をして、青森師範学校卒業後、すぐに学校の先生になりました。学校の先生としての始まりは、現在のむつ市立第一田名部小学校でした。「先生として子供たちに教えることは、楽しくもあり、大変でもありました。でも、どんなに大変でも、子供たちの笑顔を見ると頑張れました。」

現在の田名部高校が発足する際、書道の腕を見込まれ、書道の先生として働き始めました。「学校創設が決まり、書道の先生に選んでもらえたことはとても嬉しかったです。採用が決まった後は、前の校舎から現在の田名部高校まで、テーブルやイスなどの荷物を歩いて搬入しました。大変だったけれど、楽しかったです。」

その後、同じ田名部高校で商業簿記を教えた2歳年上の勇さんと結婚し、2人の子供を授かりました。勇さんも洋子さんも旅行が好きだったため、結婚後はよく家族で旅行をしました。「日本各地を旅し、なかでも佐渡ヶ島と沖縄はとても良かったです。」

退職後は、得意な書道をたくさんの人に教えるため、自宅で書道教室を開きました。勇さんが亡くなった後も自宅で暮らしていましたが、2016年4月に転倒し大腿骨頭部を骨折してしまいました。入院後手術を受け、リハビリを続けました。

退院後「みちのく十二林ショートステイ」の利用を経て、2018年6月「特別養護老人ホームみちのく荘」に入居しました。「自宅から離れて生活するから、覚悟を決めてここに入居しました。でも、悲観的ではなく前向きに捉えていたから、入居が決まった時は嬉しかったです。」

若い頃から規則正しい生活を送っていた洋子さんは、入居後も変わらず規則正しい生活を送っています。「いろいろな行事があって、ここでの生活はとても楽しいです。今年も楽しく生活しながら、また書道ができるように頑張りたいです。」

洋子さんは新たな目標を胸に、笑顔で新年を迎えました。 記/山口 陸



木彫作家・山中 良行さん
【Profile】
鹿児島県種子島生まれ。兄の八洲男さんとともに富山県井波で約10年間修行を積む。1989年鹿児島県牧園町(合併により現在は霧島市)へ移住。鹿児島県美術展南日本新聞社賞など数々のコンクールで受賞。欄間や寺社彫刻も手掛ける。

井波彫刻で有名な富山県南砺市の技法を受け継ぎながら、「笑」と「福」をテーマにした温かみのあるユーモアあふれるオリジナル作品は、クリニックを来院する皆さまに笑いと木のぬくもりを提供し、ひとり一人に寄り添いながら、心を癒しています。きょうもお帰りの際には、セラピーアニマル像3体が「お大事に...!!」という、心からの気持ちでお見送りをしています。

●プライバシーポリシーは、ホームページに掲載しております。

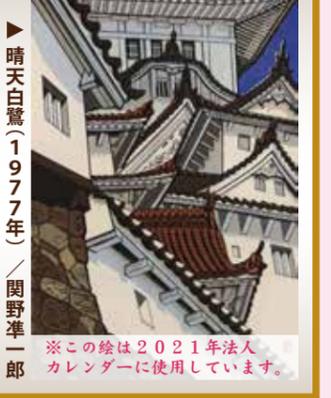
まるめろ フォトスケッチ

「みちのくクリニック」の受付カウンター下で、患者の皆さまのお出迎えと、お見送りをしていくドクターズ・ドッグ・キャッツ・シープを御存じですか?
「みちのくクリニック」の川部汎康院長、鈴木英章副院長、小野不二男医師の特徴をとらえた、人気の木彫作家・山中良行さんの作品です。



臨時休館のお知らせ

国内外での新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、安全を考慮し当面の間、臨時休館とさせていただきます。再開日につきましては、今後の感染状況等の情報を見極めたくえで検討し、当館ホームページにてご案内いたします。



※この絵は2021年法人カレンダーに使用しています。

やさしい街づくりを応援しています。

経営のお役に立つ



あおきんリース
むつ支店

〒035-0051 むつ市新町 28-17
TEL.0175-23-0171
<http://www.aogin-lease.jp>

あんしん事業所に認定されました



STOP!
感染拡大
COVID-19

あむつ市
下北文化会館 ☎22-8411

水産物・青果物・食肉・冷凍食品等の卸売



有限会社 **ニッショク**
NISSYOKU

青森県むつ市大曲二丁目 13-35
電話 (0175) **22-7222**
FAX (0175) **22-7081**

し尿収集運搬業・浄化槽保守点検・清掃業
一般・産業廃棄物収集運搬業
下水道管渠清掃カメラ調査、下水終末処理場維持管理業



谷川環境衛生開発(株)
代表取締役社長 谷川 聡

本社：むつ市新町 41-1
TEL. 0175(22)2659 FAX. 0175(22)7783
フリーダイヤル 0120-12-2659

快適な環境づくりのお手伝い



○介護用品のレンタル・販売
(車いす・ベッド・リハビリ機器他)
○住宅改修

株式会社 **シルバーサービス**
〒035-0033 むつ市横迎町 2-9-13
TEL 0175-22-9511

お客様へエネルギーの創造と革新を提供し、
経済・社会の発展に努めます。



ENEOS グローブエナジー株式会社
URL <http://eg-energy.jp/>

むつ支店：むつ市南赤川町10-27
TEL 0175-22-8320

14th Anniversary



SAKURA plaza
岩盤浴&リラクゼーション びくろむつ店

☎ 0175-23-8700
〒035-0054 青森県むつ市海老川町3-11

【営業時間】 9:30~12:00, 13:00~18:00
※窓口・電話受付...17:30まで
【定休日】 毎週水曜日・年末年始

岩盤浴 もみほくし ストレッチ フットケア スロートス マタニティケア
カラーゲンマシン フェイシャルトリートメント ホテイルラックストリートメント etc.



社会福祉法人 青森社会福祉振興団

医療・介護ネットワーク 2021

青森県



● **むつ市十二林 11-13**
特別養護老人ホームみちのく荘(定員 60 名)
TEL 0175-23-1600 FAX 0175-23-1601

グループホームまるめろ(全個室・定員 9 名)
TEL 0175-23-0611 FAX 0175-23-1523

ケアハウスみちのくグリーンリブ(全個室・定員 20 名)
TEL 0175-23-0500 FAX 0175-23-1601

みちのくデイケアセンター(一日型)
TEL 0175-23-0711 FAX 0175-23-1500



● **むつ市金谷 2-20-1**
みちのく金谷リハビリテーションセンター
TEL 0175-23-1170 FAX 0175-23-0761

みちのく訪問リハビリテーションセンター
TEL 0175-23-1170 FAX 0175-23-0761

みちのく金谷デイサービスセンターまるめろ
TEL 0175-23-0772 FAX 0175-23-0762



● **むつ市金谷 2-20-2**
特別養護老人ホーム金谷みちのく荘(全個室・定員 29 名)
TEL 0175-23-0781 FAX 0175-23-0782

みちのく金谷ショートステイ(全個室・定員 11 名)
TEL 0175-23-0781 FAX 0175-23-0782

むつ市地域包括支援センターみちのく
TEL 0175-23-7930 FAX 0175-23-7931

みちのく金谷ケアプランセンター(居宅介護支援事業所)
TEL 0175-23-0781 FAX 0175-23-0782



● **むつ市十二林 17-1**
みちのくクリニック(内科・消化器内科)
TEL 0175-23-1171 FAX 0175-23-1172

みちのく訪問看護ステーション
TEL 0175-23-6000 FAX 0175-23-6019

みちのく十二林ショートステイ(全個室・定員 30 名)
TEL 0175-23-1160 FAX 0175-23-0783



● **むつ市十二林 11-13**
みちのくケアプランセンター(居宅介護支援事業所)
TEL 0175-23-7070 FAX 0175-23-7953

みちのく訪問介護ステーション
TEL 0175-23-9100 FAX 0175-23-7953



● **むつ市城ヶ沢字砂川目 3-43**
みちのく城ヶ沢フードセンター
TEL 0175-34-9947 FAX 0175-28-3033

ベトナム



● **ベトナム/フエ事業所(介護人材養成コース)**
フエ医療短期大学
TEL +84-91-784-7410

宮城県

2022 年開設予定

● **仙台市太白区鉤取本町二丁目**
(仮称)特別養護老人ホーム西多賀みちのく荘
(定員 80 名)

青森社会福祉振興団についてもっと知りたい方は
ホームページへ!
<https://www.michinokuso.jp/>

みちのく荘

新春の挨拶

新春おめでとうございます。昨年(2020年)は、世界中がコロナ禍に見舞われ、多くの制限の中、不安のうちに過ごした一年となりました。微生物である新型コロナウイルスも「人間を宿主とし変異を繰り返しながら生存していくこと」が、自然界の法則だとすれば、これからは、人類とウイルスの上手な共生が求められているのではないのでしょうか。

世界各地で起きている自然破壊、二酸化炭素の大量排出、各国リーダーや個人が声高に叫ぶ自己第一主義等、人間の強欲な所業の果て、母なる地球は傷ついています。最近では、社会福祉関係者のことを、社会生活を維持するうえで必要不可欠な仕事の従事者の一つだと考え「エッセンシャルワーカー」と呼ぶようになりました。

新型コロナウイルスだけに限らず、世界中のあらゆる場所で、社会や人間の分断が進んでいます。本来の自然環境と人間らしさを取り戻すためにも「互いの助け合い」を心の関わり、人との出会いを心に抱き、感染症のリスクと闘いながら、特に社会的弱者と呼ばれる人々に寄り添いながら、ひとり一人の命と暮らしを支える仕事に向き合っていくことの使命と誇りを、法人役員・職員一同胸に刻みながら歩んでいきたいと願っています。

市民の皆さまのご理解とご支援を、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

二〇二一年新春
社会福祉法人 青森社会福祉振興団
理事長 中山 辰巳

●「まるめろ通信」のご感想をお寄せください。 連絡先:0175(23)1600 メール:marumelo@michinokuso.or.jp (まるめろ通信編集担当まで)